



# OSPFv3 外部パス プリファレンス オプションの設定

- [OSPFv3 外部パス プリファレンス オプションについて \(1 ページ\)](#)
- [RFC 5340 に従った OSPFv3 外部パス プリファレンスの計算 \(2 ページ\)](#)
- [例：RFC 5340 に従った OSPFv3 外部パス プリファレンスの計算 \(2 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(3 ページ\)](#)
- [OSPFv3 外部パス プリファレンス オプションの機能履歴 \(3 ページ\)](#)

## OSPFv3 外部パス プリファレンス オプションについて

Open Shortest Path First バージョン 3 (OSPFv3) の外部パス プリファレンス オプション機能では、RFC 5340 に従って外部パス プリファレンスを計算する方法を提供します。

## OSPFv3 外部パス プリファレンス オプション

RFC 5340 に従い、ASBR または転送アドレスに複数の AS 内パスを使用できる場合、どのパスが優先されるかは次のルールによって示されます。

- 非バックボーンエリアを使用するエリア内パスは、常に最優先されます。
- その他のパス（エリア内バックボーンパスおよびエリア間パス）の優先度は同等です。

これらのルールは、複数のエリアを通して ASBR に到達可能な場合、または複数存在する AS-external-LSA のいずれかを優先するかを決定しようとする場合に適用されます。前者の場合、パスはすべて同じ ASBR で終端し、後者の場合は異なる ASBR または転送アドレスで終端します。いずれの場合も、各パスは異なるルーティングテーブルのエントリで表されます。この機能は、`no compatibility rfc1583` コマンドを使用して RFC 1583 との互換性が無効に設定されている場合のみ適用されます (RFC 5340 は RFC 1583 の更新情報を提供します)。



**注意** ルーティンググループの可能性を最小限に抑えるには、OSPF ルーティングドメイン内のすべての OSPF ルータに対して同じ RFC の互換性を設定します。

# RFC 5340 に従った OSPFv3 外部パス プリファレンスの計算

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **router ospfv3 [process-id]**
4. **no compatible rfc1583**

## 手順の詳細

|        | コマンドまたはアクション   | 目的   |
|--------|--|--|
| ステップ 1 | <b>enable</b><br>例：<br>Device> enable  | 特権 EXEC モードを有効にします。<br>• パスワードを入力します（要求された場合）。                 |
| ステップ 2 | <b>configure terminal</b><br>例：<br>Device# configure terminal                      | グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。                                   |
| ステップ 3 | <b>router ospfv3 [process-id]</b><br>例：<br>Device(config)# router ospfv3 1         | IPv4 または IPv6 アドレス ファミリの OSPFv3 ルータ コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。 |
| ステップ 4 | <b>no compatible rfc1583</b><br>例：<br>Device(config-router)# no compatible rfc1583 | RFC 5340 に従った外部パス プリファレンス計算に使用する方法を変更します。                      |

## 例：RFC 5340 に従った OSPFv3 外部パス プリファレンスの計算

```
show ospfv3
```

```
Routing Process "ospfv3 1" with ID 10.1.1.1
SPF schedule delay 5 secs, Hold time between two SPFs 10 secs
Minimum LSA interval 5 secs. Minimum LSA arrival 1 secs
LSA group pacing timer 240 secs
Interface flood pacing timer 33 msec
Retransmission pacing timer 66 msec
Number of external LSA 0. Checksum Sum 0x000000
```

```

Number of areas in this router is 1. 1 normal 0 stub 0 nssa
Reference bandwidth unit is 100 mbps
RFC 1583 compatibility disabled
Area BACKBONE(0) (Inactive)
  Number of interfaces in this area is 1
  SPF algorithm executed 1 times
  Number of LSA 1. Checksum Sum 0x00D03D
  Number of DCbitless LSA 0
  Number of indication LSA 0
  Number of DoNotAge LSA 0
  Flood list length 0

```

## その他の参考資料

### 関連資料

| 関連項目                      | マニュアル タイトル                 |
|---------------------------|----------------------------|
| IPv6 アドレッシングと接続           | 『IPv6 Configuration Guide』 |
| OSPFv3 外部パス プリファレンス オプション | 「Configuring OSPF」モジュール    |

### 標準および RFC

| 標準/RFC        | タイトル      |
|---------------|-----------|
| IPv6 に関する RFC | IPv6 RFCs |

## OSPFv3 外部パス プリファレンス オプションの機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

| リリース                           | 機能                        | 機能情報  |
|--------------------------------|---------------------------|---|
| Cisco IOS XE Gibraltar 16.11.1 | OSPFv3 外部パス プリファレンス オプション | Open Shortest Path First バージョン 3 (OSPFv3) の外部パス プリファレンス オプション機能では、RFC 5340 に従って外部パス プリファレンスを計算する方法を提供します。 |



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。